

分けつ期深水管理による直播「コシヒカリ」の過剰生育の抑制

福島県農業試験場 会津地域研究支場
平成16年度試験成績概要

1 部門名

水稲－水稲－水稲直播
分類コード 01-01-75670000

2 担当者

浜名健雄

3 要 旨

直播栽培の「コシヒカリ」の分けつ期の過剰生育、倒伏を抑制するために、苗立ち本数の異なるイネに対する深水管理の影響について検討した。

- (1) 深水管理は播種後45日(葉齢6葉以上)から開始し、期間は25日間及び35日間実施した区を設けた。水深は開始時は完全展開葉の葉耳を目安とし、徐々に水深を上げ、最大15cmとした。
- (2) 分けつ期深水管理区では慣行区に比べ茎数を抑制することができ、管理終了後に分けつが急増することが無かった。また深水管理期間の違いによる差はみられなかった。
- (3) 深水管理期間中は慣行区に比べ一時的に草丈は上回るものの、その差は小さく、稈長はほぼ同程度となった。
- (4) 深水管理により、茎径が太くなることで、深水管理区では倒伏程度は200以下に抑えることができた。
- (5) 深水管理による収量への影響は深水管理期間では差はないが、苗立ちの多少で異なった。苗立ち少区では m^2 穂数の減少する割合に対し、1穂粒数の増加割合が小さく、 m^2 粒数が減少するため減収となったが、苗立ち多区では m^2 粒数は減少するものの、1穂粒数の増加する割合が大きく、 m^2 粒数が増加することで増収となった。
- (6) 以上より苗立ち本数が多い場合には深水管理による効果が現れるが、その時の苗立ち本数は100本/ m^2 を上回った場合である。

4 その他の資料等

なし